

傾聴ボランティア

## 「あいりす」通信

第 24 号



〒682-0025 倉吉市八屋 301-1

はーとぴあ創造内 あいりす事務所

電話番号 0858-24-5378

携帯電話 090-2804-8014 (竹森)

E-mail:ailis@heart-ailis.com

http://www.heart-ailis.com

## 平成27年度 総会のご案内

会員集合！傾聴ボランティア活動を話  
しましょう。どんなことでもOK

日時： 4月24日(金) 13:30~15:00

場所： 倉吉福祉センター 中会議室 倉吉市福吉 1400 TEL.22-5248

内容： ①平成26年度事業報告及び決算(承認)  
②平成27年度事業計画並びに予算(案)  
③皆で話そう、傾聴ボランティア活動の疑問・醍醐味等  
・各訪問先の報告  
・会員同士の意見交換



傾聴ボランティア「あいりす」は「平成23年度傾聴ボランティア養成講座」を受講した30名で平成24年3月23日に立ち上げました。現在中部圏域を中心として11か所の施設と在宅8か所に訪問をしています。(平成27年4月26日現在会員数47名) 傾聴ボランティア活動は自分自身のために楽しんで活動したいものです。この活動を通して①仲間作り②心と体の健康作り③地域に貢献することが出来ればいいですね。総会が会員同士の交流や傾聴ボランティア活動をより深める場になればと思っています。是非誘い合って全員参加をして下さい。

※当日、平成27年度会費「1000円」ご持参ください。

仏教の言葉に<同治>と<対治>がある。悲しんでいる人に「いつもでもくよくよしてもだめだよ」「気持ちを立て直して頑張りなさい」「さあ、元気をだそう」というように励まして、それで悲しみから立ち直らせるのが<対治>的やり方。これに対して黙って一緒に涙を流す事によって、その人の心の重荷を少しでも自分のほうに引き受けようとするそういう態度が<同治>という。そして<同治>のほうが種々な面で<対治>よりよい結果をもたらすことが多い。「<同治>はまさに傾聴」

## 大熊由紀子記念講演会の報告 (公開講座)

会員の皆様のおかげで、素晴らしい講演会となりました。お疲れ様でした。

日時：3月1日（日）13:30～15:00

場所：倉吉福祉センター 大会議室 倉吉市福吉 1400 Tel.2-5248

講師：大熊由紀子国際医療福祉大学大学院教授

演題：恋するようにボランティアを～福祉が変わる・医療が変わる～

参加人数：160名



○ボランティアは恋愛と共通点がある。

「法律で強制されない」

「尽くそうとする気持ちが湧き上がる」

「偶然の出会いである」

「創造力がある。」

[修羅場もある]

〈感想の一部を紹介します〉(アンケートから抜粋)

- ・対象の年齢や状況を問わず(障害の有無)人間の尊厳を守ることが基本であると確認できました。人に優しい国であってほしいと切に願います。
- ・ボランティアの考え方が変わりました。肩に力が入っていましたが、出来る事から始めたいと思います。
- ・リハビリとは究極「人格尊厳」であること目から鱗が落ちました。今後は施設ボランティア枠内だけではなく個人宅ボランティア強化への思いを強くしました。



あのね・(会員のつぶやき)

豊作業を生業とした手、和裁を生業とした手、家族を養うために身を粉にして働いた体は年齢を重ね動きがゆっくりとなり、考えるのもゆっくりになった。忘れてしまうことを思い出せないこと、何だかわからないことが多くなった。老いるから現れる変化はあれど、歌詞集を見なくても歌うことができる。糸に付いたままの針の名前がわかる。野菜や肥料の施し方もわかる。ワラジやしめ縄を編む手の動きは職人技だ。

「先生！！」と手を握って教えを請うほどの名人達との傾聴を許されて1年になろうとしている。月2回、この名人と会い、軽い体操をしてコーヒーを飲み、とりとめもなく話したり笑ったり1時間を過ごしている。「あんたは誰だったかいな～？」毎回尋ねられるたびに名札を見ながら声に出して読んでもらう。会話にならないこともあるけど、言葉が出てくるだけでも心が通いあったかのように思う。帰路の車の中で嬉しさが込み上げてきて涙が溢れることもたびたびある。名人方から渡されるパワー受けられることに私は心から感謝している。(K・U)

事務局より

桜の蕾も膨らみ、野、山、町が春色になってきました。4月24日総会を開催します。お忙しいとは思いますが是非出席して下さい。会員一人一人の意見・行動で「あいりす」の傾聴ボランティア活動を発展しましょう。

